



リンゴに傷が付かないように
キャップをかけて梱包中

矢巾町高校生インターンシップが7月下旬から8月上旬まで実施され、49人が参加。町内の事業所でさまざまな就業体験に汗を流しました。

徳田保育園で保育補助を体験した川村葵さん（紫波総合高校2年）は「園児の手下となる行動をするように心掛けた」と話し、株式会社昆松で果物の梱包作業を体験した長沼晃平さん（紫波総合高校2年）は「働くことの大変さを実感した。この実習を将来に生かす」と笑顔を見せていました。

町内の事業所や保育園など22カ所が、学生を受け入れ、職業選択や職業意識の向上に協力しました。

将来を考える高校生をサポート インターンシップで就業体験

まちの話題 あれこれ

身の回りに起きた出来事など、
楽しい情報をお寄せください。

役場企画財政課
(☎ 611-2724)



水遊び前の園児の保育補助をする実習生



国歌斉唱を務めた矢巾北中特設合唱部



スターティングメンバーを紹介する親子

町は、矢巾のイメージアップや地域活性化を目的とした地方創生事業の一環で、8月3日のプロ野球楽天イーグルス対千葉ロッテ戦を協賛。町民約130人が仙台市の楽天生命パーク宮城を訪問しました。

矢巾北中特設合唱部が国歌を斉唱し、町内児童が始球式、スタジアムMC、ボールボーイを務め、親子でスターティングメンバー紹介、グラウンドキーパーを行い、大型ビジョンには町PR動画が流れ、2万6千人超の観衆で湧く球場を矢巾一色に染め上げました。国歌を斉唱した特設合唱部の坂本優月部長は「貴重な体験で緊張したが、楽しく歌えた」と感想を述べました。

杜の都で矢巾のイメージアップを 仙台市で矢巾町ナイターを開催！



水泳記録会で練習の成果を発揮

町内小学校の水泳記録会が7月26日、矢巾東小学校のプールで開催され、町内4つの小学校から5、6年生の代表選手146人が出場。山本貫慈くん(矢巾東小6年)が100m・50m自由形で大会記録を更新しました。



※写真は父母会が提供。

矢巾アローズ 全国大会初勝利！

矢巾アローズは、7月27日から高知県で開催された「第8回龍馬旗争奪西日本小学生野球大会」に出場。初戦で高知県の西土佐・八東連合と対戦し、9対1で勝利しました。なお、2回戦は台風の影響で棄権しました。



大にぎわいの「やはばお盆朝市」

矢巾町農業対策会議は8月12日、「やはばお盆朝市」を開催しました。朝市には町内の産直など8団体が出店。早朝にも関わらず多くの買い物客が詰めかけ、お墓や仏壇に供える花や新鮮な野菜などを買い求めていました。



収穫したズッキーニを掲げ、笑顔を見せる参加者

町では7月21日、農業への理解と地元野菜の地産地消を推進するため「地元学び塾(ズッキーニ編)」を開催。参加者12人が、ズッキーニの収穫や料理教室を体験して、町産野菜への理解を深めました。

塾の講師は農事組合法人東農産(宮竹志代表理事)の組合員と岩手志援株式会社(鈴木勝美さん)。参加者はまず、栽培から出荷までの説明を受けた後、同法人の畑で収穫体験。やはばくに戻り、ズッキーニを使った浅漬けと肉巻きを作りました。

藤原真州美さん(煙山行政区)は「栽培の現場を見ることができ、勉強になりました。自分の畑で栽培したい」と話しました。

矢巾町産ズッキーニの収穫体験 地元学び塾「ズッキーニ編」開催



ピンスポットライトの操作を体験する参加者

田園ホールでは7月28日、田園ホールの舞台裏で操作体験や見学をする「田園ホールバックステージツアー」を開催。参加した17人は田園ホールの特徴や名前の由来などの説明を受け、ピンスポットライトの操作体験、施設内見学をしました。おばあちゃんと参加した佐々木統真くん(矢巾東小1年・高田3区行政区)は「ピンスポットライトの操作が楽しかった。部屋がたくさんあって驚いた」と感想を話しました。

普段、利用している施設の裏側を見ることができた参加者は、とても楽しいひと時をすごしました。

田園ホールの舞台裏を体験 田園ホールバックステージツアー